

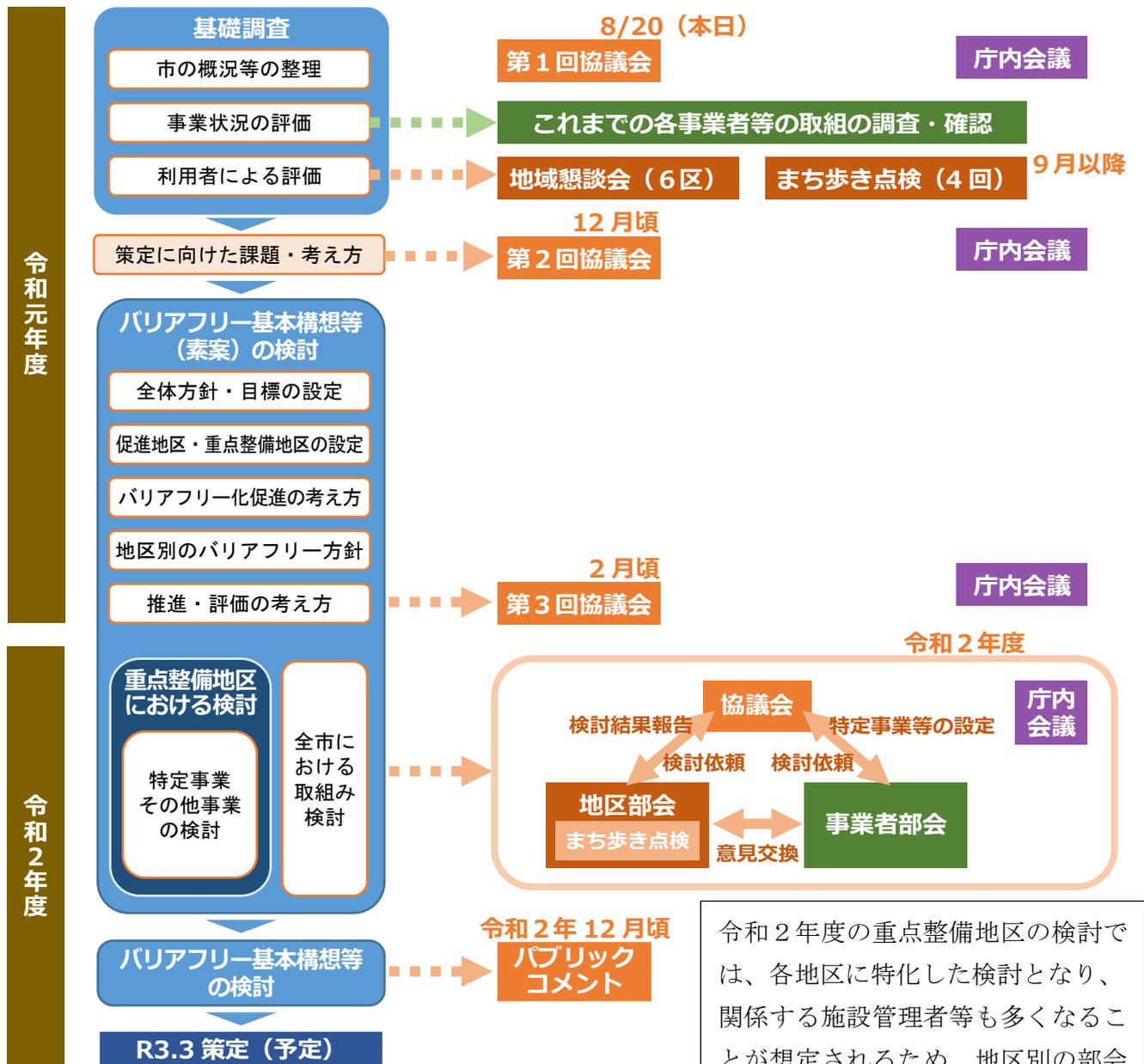
バリアフリー基本構想等の検討の進め方

1. 検討の流れ

今年度の検討では、基礎調査として現在のバリアフリーに関する各事業者等の取組を調査、確認するとともに、市内の道路や施設を利用する当事者の意識を把握するため、地域懇談会やまち歩き点検を実施します。

基礎調査の結果等を踏まえ、千葉市バリアフリー基本構想等の策定に向けた課題や考え方を整理し、地区の設定やバリアフリー化促進の考え方、地区別のバリアフリー方針等を検討します。

引き続き、令和2年度には設定した重点整備地区における特定事業の検討等を行い、パブリックコメントを経て、令和3年3月頃に策定する予定です。



令和2年度の重点整備地区の検討では、各地区に特化した検討となり、関係する施設管理者等も多くなることから想定されるため、地区別の部会や事業者の部会を立ち上げて検討することを想定しています。

2. 検討組織や市民参加による活動等の目的と構成

千葉県バリアフリー基本構想等を検討するにあたり、推進に係る各組織や市民参加による活動の目的と構成を以下のように設定します。

組織・活動	活動目的	参加者の構成
協議会	基本構想等を検討し、内容について承認を行う母体。法及び条例に基づいて設置する。	学識経験者・高齢者団体・障害者団体・施設管理者・事業者・行政関係者等
庁内会議	協議会検討内容について事前調整・報告したり、庁内で連携して取組む施策について協議する。	都市整備・交通・観光・福祉系等の庁内担当所管
地域懇談会 (令和元年度)	地域特有の課題を把握するため、区別に意見交換を行う。	各地域に在住の高齢者・障害者等（6区）
まち歩き点検 ワークショップ (令和元年度)	特徴的な施設・経路を視察し、バリアフリー推進状況を評価する。また、今後の整備等で各事業者が配慮すべきことを検討する。	協議会委員及びその他の高齢者・障害者等視察施設の管理者
地区部会 (令和2年度)	基本構想等の検討にあたり、重点整備地区別の具体的な内容を協議する。	学識経験者・高齢者・障害者・その他市民・施設管理者・事業者・行政関係者等
まち歩き点検 ワークショップ (令和2年度)	特定事業としてバリアフリー化の実施を依頼する内容を検討するため、生活関連施設・経路を視察し、意見交換を行う。	地区部会委員及びその他の高齢者・障害者等視察施設の管理者
事業者部会 (令和2年度)	市の取組への理解を促進するとともに特定事業・その他事業の検討を依頼し、内容の調整を行う。	重点整備地区の生活関連施設・生活関連経路に指定された施設の管理者

3. 令和元年度に実施する基礎調査の概要と協力のお願い

(1) これまでの各事業者等の取組の調査・確認

1) 目的

千葉市バリアフリー基本構想等の策定にあたり、公共交通（旅客施設・車両等）・道路・信号機等・都市公園・建築物・路外駐車場等のバリアフリー状況について、主要な施設・経路等の管理者へ問合せを行い、市のバリアフリーに関する現況を把握します。

2) 実施方法

<公共交通関連事業者>

協議会委員を通じて各事業者へ情報提供の依頼をします。バリアフリー状況についてこれまでに整理し、公表又は国土交通省などに提出している資料などがあれば、併せてご提出いただきます。

<道路管理者・交通安全関連事業者>

道路及び信号機等について、現行の基本構想に基づく特定事業計画及び事業の実施状況、今後の予定について情報提供をお願いします。

<都市公園・公共施設（建築物・路外駐車場）管理者>

協議会委員を通じて各施設管理者へ情報提供の依頼をします。バリアフリー状況についてこれまでに整理している資料などがあれば、併せてご提出いただきます。

<民間施設（建築物・路外駐車場）管理者>

大規模な商業施設など、市内の主要な施設を抽出し、施設のバリアフリー状況について確認するためのアンケート調査を行います。

提供いただいた資料を基に、必要に応じて不明点や今後のバリアフリー推進の考え方をうかがうためのヒアリング調査を実施します。

(2) 地域懇談会

1) 目的

千葉市バリアフリー基本構想等の策定にあたり、バリアフリーに関する市民の意識を把握するとともに、各地域の具体的な課題や改善策を整理するため、行政区別に、在住の高齢者、障害者等による懇談会を開催し、地区内における施設等の利用状況や利用しやすさ、課題点等について把握することを目的とします。



2) 開催日程

令和元年9月以降に各区約1時間半のプログラムで実施します。

(複数地域を同時開催する可能性もあります)

3) 参加者

高齢者・障害者関係団体や各区の社会福祉協議会等を通じて参加希望者をご紹介いただき、高齢者・障害者、その他の市民等により実施します。

4) 想定プログラム

項目	時間	内容
開会・説明	15分	○開会挨拶 ○市のバリアフリーの取組紹介 ○本日の目的及び進め方の説明
意見交換 ワークショップ	60分 各テーマ 約20分	○地域の地図を見ながら、下記のテーマに沿って意見交換を実施 ・テーマ1：区内でよく利用する施設・経路におけるバリアフリーに関する課題・改善策 ・テーマ2：区で特に重要なバリアフリー課題(来訪者の視点なども含めて) ・テーマ3：その他、日常生活の中で感じていることや心のバリアフリーに関すること等
まとめ	10分	○ワークショップのまとめ
閉会	5分	○閉会挨拶



実施イメージ

高齢者、障害者（視覚、聴覚、肢体不自由、知的障害他）、障害者の支援者などさまざまな立場の人があつまり、日頃から感じていることについて話し合う中で、地域の課題を明らかにしていきます。

(3) まち歩き点検ワークショップ

1) 目的

(1) (2) の結果を踏まえ、バリアフリーについて特徴的な取組がされている個所や、課題があると指摘された個所を対象に、実際に現地を視察・点検するワークショップを行います。

ワークショップでは、複数班に分かれて検証テーマを設定し、市民参加のもと経路・施設等のバリアフリー状況の現地確認・意見交換を行います。

点検対象施設の問題点を指摘することが目的ではなく、整備によって良くなった点や残された問題点などを確認し、今後の他施設等での取組において参考にすべき点や改善すべき点を整理することが目的です。

意見交換の結果は、千葉市バリアフリー基本構想等に記載する「バリアフリー化促進の考え方」や「地区別のバリアフリー方針」に反映していきます。

2) 検証テーマ (案)

5つの検証テーマを設定し、まち歩きワークショップを実施します。

検証テーマ	検証の視点	検証経路・施設等 (想定)
鉄道駅の バリアフリー	・ 駅の整備における配慮 ・ 乗換の連続性への配慮 等	・ 千葉駅 ・ 市内主要駅 等
駅前広場の バリアフリー	・ 駅からの連続的な案内・誘導への配慮 ・ バスやタクシー乗り場、一般車乗降場等の 整備方法への配慮 等	・ 千葉駅 ・ 市内主要駅 等
道路の バリアフリー	・ 歩道整備における配慮 ・ 歩道設置困難な道路における配慮 ・ 視覚障害者誘導用ブロックの連続性 等	・ 市道/県道 (歩道あり・なし) ・ 国道
建築物 ・ 駐車場の バリアフリー	・ 多くの人を利用する施設の整備での配慮 ・ 上下移動 (エレベーター・階段)、トイレ、 駐車場等での配慮 ・ 窓口での配慮や人的対応の配慮 等	・ 大規模商業施設 ・ ホテル ・ 区役所・コミュニティセンター ・ 病院 等
都市公園の バリアフリー	・ 都市公園整備での配慮 ・ 来街者が多く訪れる公園での配慮	・ 千葉公園 ・ 公共施設等に隣接する 街区公園 等

※ 具体の点検先は、(1) の基礎調査結果を踏まえ、点検先との調整等を行いながら決定します。

3) 開催日程

令和元年9月以降に4回程度実施予定です。

多くの施設が集中する千葉駅周辺で2回程度、その他の地区で2回程度を想定します。

※雨天決行、ただし荒天の場合は延期（もしくは中止）。

4) 参加者

協議会委員、地域懇談会参加者を中心に、参加希望者をご紹介いただき、高齢者・障害者、その他の市民等により実施します。

5) 想定プログラム（4時間程度）

項目	時間	内容
開会・説明	(15分)	○開会挨拶 ○区のバリアフリーの取組紹介 ○本日の目的及び進め方の説明
現地確認	(10分)	～班ごとの進行へ～ ○参加者自己紹介 ○班ごとの検証テーマ、現地確認ルートの確認 ○現地確認の出発準備
	(110分)	○現地確認
(休憩)	(20分)	
意見交換	(75分)	○検証テーマに沿った意見交換
閉会	(10分)	○総括 ○今後のスケジュール ○閉会挨拶

実施イメージ

さまざまな立場の人があつまり、テーマごとにまちなかを歩いてバリアフリー課題を確認します。会場に戻った後は、気づいたことや、実現可能な改善策の提案などについて、自由に意見を話し合い、参加者全体で共有します。

